

菊陵中
図書
だより

Library News

2018 年
第 4 号



めっきり寒くなり、木枯らしが吹きすさぶ頃となりました。壁に掛けたカレンダーも最後の一枚となり、なんとなく気ぜわしくなってきますね。

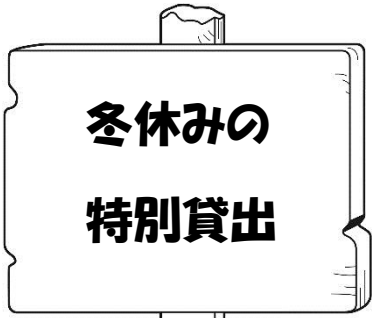
大掃除など新しい年を迎える準備のお手伝いに忙しいときですが、この一年、どんな本を読んできたか振り返ってみてください。



★図書館利用状況★

11月（17日）
来館人数 206人
総貸出冊数 192冊

12月（9日）
来館人数 75人
総貸出冊数 115冊



・1人3冊まで借りられます。
・冬休みの本の貸出の前に借いた本は、一度返してください。



※返却期限が過ぎている本がある人は、冬休みの前に返して、気持ちよく新年を迎えましょう。

発表！上半期菊陵中学校人気図書リスト

書名	著者名	出版社
異世界はスマートフォンとともに。	冬原 パトラ	ホビージャパン
神様の御用人	浅葉 なつ	KADOKAWA
カゲロウデイズで中学生からの勉強法が面白いほどわかる本	じん	KADOKAWA
小説・夏目友人帳	緑川 ゆき	白泉社
ソードアート・オンライン	川原 礫	ASCII・メディアワークス
ログ・ホライズン	橙乃 ままれ	エンターブレイン
カゲロウデイズ	じん	KADOKAWA
アイドル受験戦記	管 なな子	文藝春秋
文豪ストレイドッグス	朝霧 カフカ	KADOKAWA
僕のヒーローアカデミア	堀越 耕平	集英社



中間報告！ 2学期の貸出上位者を紹介します。

<貸出期間9月1日～12月17日>

順位	冊数	氏名	学年
1	56	臧 西	2
2	55	古閑 優馬	2
3	46	甲斐 楓花	1
3	46	矢口 皓基	2
5	43	齋藤 拓実	3
6	41	古賀 華夢	2
7	39	佐藤 望有	3
8	37	古谷 功織	1
8	37	古賀 沙織	2
10	28	山崎 優太	2



◆ 新刊情報 ◆

書 名	著者名	出版社
コミック版 日本の歴史 戦国人物伝		ポプラ社
ギネス世界記録 2019		KADOKAWA
小説 夏目友人帳 2.3 巻	緑川ゆき	白泉社
神様の御用人 8巻	浅葉なつ	KADOKAWA
八月の終わりは、きっと世界の終わりに似ている。	天沢夏月	KADOKAWA
ねえ、委員長	市川拓司	幻冬舎
瓶詰地獄 乙女の本棚	夢野久作	立東舎
沈黙のパレード	東野圭吾	文藝春秋
噛みあわない会話と、ある過去について	辻村深月	講談社
少年少女日本の歴史 平成の30年		小学館
グサッと痛いけど超やる気が出るドSな言葉	七尾与史	ずばる舎
5 分後に先輩にときめく恋	恋する実行委員会/編	KADOKAWA
5 分後にキミのひと言ではじまる恋	恋する実行委員会/編	KADOKAWA
5 分後に意外な結末 エメラルドに輝く風景	桃戸ハル/編	学研プラス
掟上今日子の乗車券	西尾維新	講談社
掟上今日子の色見本	西尾維新	講談社
未来	湊かなえ	双葉社
仰げば尊し 部活系空色ノベルズ 3巻セット		学研プラス
こぐちさんと僕のビブリアファイト部活動日誌	三上延/原作	KADOKAWA
ソードアート・オンライン21巻	川原礫	KADOKAWA
女性の職業のすべて 2019 年版		啓明書房
やり残した、さよならの宿題	小川晴央	KADOKAWA
八月のリピート 僕は何度でもあの曲を弾く	喜多南	宝島社
僕は何度でも、きみに初めての恋をする。	沖田円	スターツ出版

※3学期に入荷の予定です。お楽しみに！



郷土ゆかりの作家の紹介



佐木 隆三

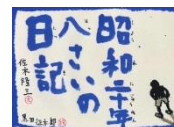
1937（昭 12）年、朝鮮咸鏡北道（現朝鮮民主主義人民共和国）に生まれる。広島県に帰郷したのち、原爆投下を目撃した。56 年、八幡中央高校を卒業し、八幡製鐵（現新日鐵住金）に事務員として入職。兄の深田俊祐らと同人誌「日曜作家」を創刊、製鐵所内の職場雑誌にも作品を発表した。63 年、「ジャンケンポン協定」で第 3 回新日本文学賞受賞。翌年退職し、のち上京。「奇蹟の市」で芥川賞候補、「大将とわたし」で直木賞候補となる。76 年、『復讐するは我にあり』で第 74 回直木賞受賞。同作は、ベストセラーとなり、今村昌平監督により映画化された。その後、裁判所の傍聴記録連載を始め、宮崎勤裁判、オウム真理教裁判など重大事件に発言を続けている。伊藤整賞、福岡県文化賞など受賞。1999 年、北九州市門司区に転居。

【作品紹介】

画像なし

「ジャンケンポン協定」 1965/05

八幡製鐵所で働いていた際の体験をもとにした短篇集。表題作は、ジャンケンポンで退職者を決めるという労働組合の協定をめぐる混乱を描く。早期退職をまぬかれようと、組合員たちは「アイコでショの術」を編みだす。



「昭和二十年八さいの日記」 2011/07 黒田征太郎 // 絵

少年は、「おくにのために」死ぬ覚悟だった。8 歳だった隆三少年の印象を 7 歳だった征太郎少年が、渾身の気迫で描いたイノチの絵本。



「宿老・田中熊吉伝 鉄に挑んだ男の生涯」2004/10

八幡製鐵所の最初の宿老、田中熊吉の評伝。宿老は、見識のすぐれた熟練工が抜擢されるもので、現場では「高炉の神様」と崇められた。著者は本作を門司港へ仕事場を移してから記念的作品に位置付けている。